

# 球磨村の再生可能エネルギーで走る 電動スクールバス実証事業について

 環境省 中山間地域における電動マイクロバスの評価検証事業 (R3~R5年度)

熊本大学 大学院 先端科学研究部

シニア准教授 松田俊郎

動画



球磨村の再生可能エネルギーで走る電動スクールバス

# 熊本大学のEVバス研究

地域のSDGsに貢献する  
電気自動車(EV)の社会実装  
研究を進めています。

<研究者>

熊本大学大学院先端科学研究部  
シニア准教授 松田俊郎

- ・熊本市出身
- ・済々黉、九州大学工学部卒
- ・日産自動車(株)で先進技術  
や電気自動車の開発を担当
- ・2013年2月から熊本大学
- ・環境省委託事業を推進(3件)
- ・著書 電気自動車の開発  
(自動車技術会発行 2015年)



## EV路線バス

ディーゼルエンジンで走る路線バスをEVバスに改造し、クリーンな公共交通を実現します。

(熊本市と横浜市で実証試験)



- |                  |
|------------------|
| 1. 排気ガスゼロ        |
| 2. CO2排出少(走行中ゼロ) |
| 3. 発進・加速が滑らか     |
| 4. 静か(低騒音)       |
| 5. 運転し易い         |

## 電動スクールバス (球磨村で実証試験)

スクールバスを電動化し、再生可能エネルギーと連系して地域のCO2削減や非常電源に使います。



# 球磨村電動スクールバス実証事業 概要

球磨村で電動スクールバスを運行し、再生可能エネルギー連系、非常電源を含めた実証試験を行って、最適な運用方法、効用、価値を提案し、全国普及を目指す。

## 【事業概要】

1. 事業名 環境省「中山間地域における電動マイクロバスの評価検証委託事業」
2. 事業期間 R3年度～R5年度（R4年1月開始）
3. 受託事業者 / 実施責任者  
熊本大学 / 大学院先端科学研究部 松田俊郎
4. 共同実施者 熊本県 球磨村

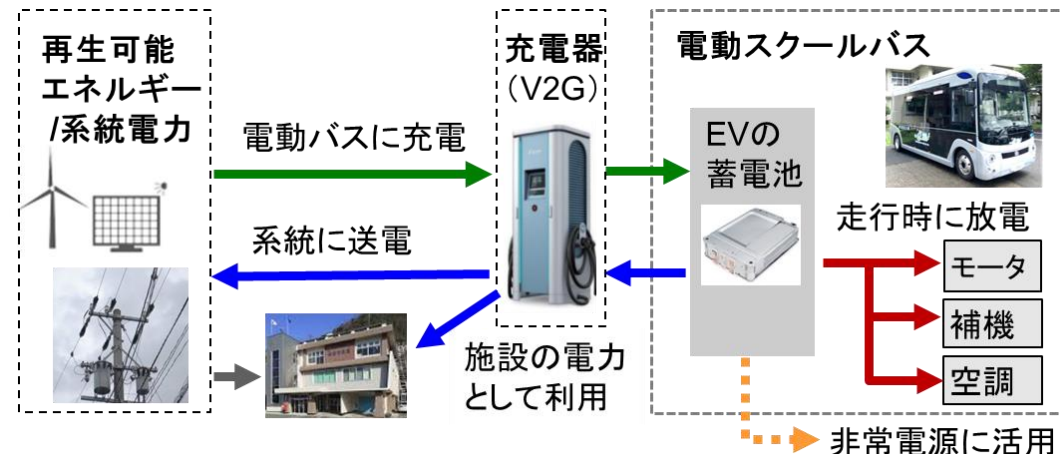
## 【期待される効果】

- ・カーボンニュートラル化
  - ・エネルギー地産地消（再生可能エネルギー普及）
  - ・地域強靱化（移動する非常電源）
  - ・グリーンな地域交通
- ➡ ★球磨村の創造的復興に貢献  
★電動マイクロバス普及（他用途に拡大）

## 【事業の内容】

- ・球磨村で新型電動スクールバスを運行
- ・再生可能エネルギーを活用し、地域のCO2排出量を最小とする技術を開発
- ・バスを移動可能な非常電源として活用
- ・電動スクールバスの最適な運用方法/制御と地域有用性/事業性をまとめ、社会に発信

## 【実証試験の構成】



# 電動スクールバス導入で期待される効果

地域（特に中山間地）では、ゼロカーボン化、エネルギー、強靱化、地域交通などの対応すべき課題があるが、電動スクールバスはこれらの解決に有効である

